「世界のホームオートメーション市場2022年－2031年：コンポーネント別（安全＆セキュリティ、入退室管理、照明システム）、技術別」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年10月7日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界のホームオートメーション市場2022年－2031年：コンポーネント別（安全＆セキュリティ、入退室管理、照明システム、エンターテインメントシステム、空調システム、その他）、技術別（有線、無線）」調査資料の販売を2022年10月7日
に開始いたしました。ホームオートメーション市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界のホームオートメーション市場2022年－2031年：コンポーネント別（安全＆セキュリティ、入退室管理、照明システム、エンターテインメントシステム、空調システム、その他）、技術別（有線、無線）
■英文タイトル：Home Automation Market （Component: Safety and Security, Access Control, Lighting System, Entertainment System, Heating Ventilation and Air Conditioning （HVAC）, Others; Technology: Wired, Wireless） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031
■発刊日：2022年9月26日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容

家庭内の電子機器を自動的に制御することをホームオートメーションといいます。これらの機器は、インターネットに接続することで、遠隔地から管理することができます。ホームオートメーションにより、個々のデバイスが相互にトリガーされるため、手動による制御が不要になります。また、セキュリティシステムやカメラなどのモノのインターネット（IoT）対応機器をホームオートメーション化することで、安全性を高めることができます。火災や一酸化炭素の監視、遠隔照明制御、サーモスタット制御、警報システム、リアルタイムのテキストや電子メールによる警告、デジタルパーソナルアシスタントの統合など、ホームオートメーションが提供するさまざまな機能により、世界のホームオートメーション市場は予測期間中に大きな成長率で前進すると推測されます。スマートホーム技術は通常、1日あたり約30分、年間では182.5時間、1週間以上ユーザーを節約することができます。その結果、ホームオートメーション企業は、Alexa、Google Assistant、Siriの助けを借りて、ホームオートメーションの音声制御を可能にする新技術に多額の投資を行っています。また、スマートホームインテグレーションデバイス、音声制御ホームオートメーションシステム、ホーム照明オートメーションシステムの人気上昇も、予測期間中に世界のホームオートメーション市場を押し上げると予想されます。

スマートホーム市場は、スマートフォン制御のアプリケーションの急速な発展により、ますます魅力的になっています。米国のテクノロジー企業であるAlarm.comが米国内の1000世帯を対象に行った調査によると、回答者の59%が市場にあるさまざまなデバイスに戸惑う一方で、48%近くがスマートホームのソリューションに熱意を示していることがわかりました。調査の参加者は、スマートホームが提供するであろうセキュリティに高い優先順位を置いており、セキュリティの次に快適性、エネルギー節約などが挙げられています。そのため、ホームオートメーションで事業を展開する主要プレイヤーは、競争力を高めるために革新的な製品の開発に取り組んでいます。例えば、2022年6月 、Hogar Controls India Pvt. Ltd.は、インド市場でデジタルドアロック、スマートタッチパネル、コントローラー、スマートカーテンモーターの新シリーズを発売しました。同社のWi-Fi対応スマートタッチパネルは、PrimaシリーズとPrima+シリーズの様々な製品バリエーションで構成されています。これらのタッチパネルは、あらゆるスマートフォンと互換性があり、対応するデバイスではAmazon AlexaやGoogle Assistantで音声制御が可能です。したがって、照明機器、エアコン、ランドリーシステム、暖房、オーディオ／ビデオシステムを遠隔操作するためのスマートフォンの使用が増加し、スマートホームシステムの採用を推進しています。

スマート照明は、室内照明の最先端技術です。スマートLED電球は、アプリやスマートホームアシスタント、その他のスマートアクセサリーに接続するソフトウェアと統合されており、従来の壁スイッチを不要にし、照明の自動化や遠隔制御を実現します。各スマート電球やLED一体型器具は、スマホやタブレット、GoogleアシスタントやAmazon Alexaなどのスマートアシスタントでワイヤレスに操作することができ、この機能によりスマート照明の急速な普及を実現しています。スマート照明システムは、カメラ、オーディオ機器、サーモスタット、ホームアシスタントなどの他の機器と接続できるため、スマート照明の需要を促進しています。世界の電力使用量の20%近く、CO2排出量の6%が照明で消費されています。国際エネルギー機関（IEA）によると、照明が世界の石油需要の約3%を占めています。このままでは、2030年までに世界の照明のエネルギー使用量は約60%増加するといわれています。スマートライトは、従来の照明に比べてエネルギー効率が高いです。このような要因が、世界のホームオートメーション市場を牽引すると期待されています。

ホームオートメーションの世界市場は、コンポーネント別に、安全・セキュリティ、アクセスコントロール、照明システム、エンターテインメントシステム、HVAC（Heating Ventilation and Air

Conditioning）、その他に分類されています。暖房換気空調（HVAC）分野は、さらにアクチュエーター、センサーと変換器、サーモスタット、ダクト式スプリットシステム、加湿器、紫外線空気清浄機、その他に分類されています。このうち、サーモスタットは市場における重要な技術の1つであり、予測期間中に急速な成長が見込まれています。サーモスタットは、カスタマイズ可能なスケジュール、リモートアクセス、ジオフェンシングによって温度を制御し、HVACエネルギー消費量の約23%を節約できるよう、お客様をサポートします。スマートサーモスタットのユーザーは、室内の快適性を維持しながら、エネルギーコストと金銭的コストを削減することができます。また、SpotifyやBluetoothのストリーミング、ハンズフリー通話、インターホン機能など、最新のサーモスタットにはさまざまな機能が搭載されています。

技術面では、世界のホームオートメーション市場は有線と無線に分類されています。予測期間中は、ワイヤレスセグメントが市場を支配すると予想されます。ワイヤレスセグメントは、さらにZigBee、Wi-
Fi、Bluetooth、その他に分類されます。セグメントのうち、ZigBeeは2021年に市場で大きなシェアを占めており、予測期間中に最も高いCAGRで成長すると予測されています。Zigbeeは、消費電力が少ない低コストな無線通信技術です。IEEEの802.15.4パーソナルエリアネットワーク規格がZigbeeの基盤となっています。スマートホームセンサーなど、多くの帯域幅を必要としない低消費電力デバイスなどの一部の用途では、ZigbeeはWi-
FiやBluetoothの代替品とみなされることが多いようです。Zigbeeは、製造会社が違っても、同じ言語で通信できるため、通信の壁がありません。このように、Zigbeeはスマートホームオートメーションシステムにおける重要な要素となっています。

2021年の世界のホームオートメーション市場では、北米が最も高いシェア、約37.8%を占めています。主要な市場プレイヤーの存在、技術の進歩、米国やカナダなどの国がこの地域のメーカーに長期的に十分かつ有利な機会を提供していることから、予測期間中に世界のホームオートメーション市場を支配すると予想されます。北米では、過去10年間にホームオートメーションの普及が進みました。米国では、ミレニアル世代の約半数がすでにスマートガジェットを所有しています。米国では、大多数の家庭でアシスタント付きスマートスピーカーの導入が始まっています。ブロードバンドに対応した家庭の1/4以上が、現在、役に立つアシスタント付きのスマートスピーカーを活用しています。さらに、音声による検索機能は現在、米国では約35％の人が月に1回以上利用しています。このように、北米の市場は、持続可能な家庭用エネルギー管理システム、家庭のセキュリティレベルの向上、家庭におけるスマートデバイス＆スタンドアロン音声アシスタントの統合が進んでいることによる需要の増加によって牽引されています。
ヨーロッパとアジア太平洋地域の市場も、これらの地域のさまざまな国でスマートホームオートメーション機器やホームオートメーションキットが急速に採用されていることから、大きく成長しています。中国、インド、韓国では、中産階級の可処分所得が増加し、豪華なライフスタイルを好むようになった結果、ホームオートメーション製品やソリューションが広く使用されています。
中東・アフリカは、南米と比較してホームオートメーションの市場規模が大きく、さらに、中東・アフリカの市場は南米の市場と比較して急速なペースで成長すると予測されています。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/home-automation-market-component-safety-and-security-access-control/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら
https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency－Market－Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.jp
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com